

観光業からの参入 (由志園アグリファーム株式会社)

<法人の概要>

所在地：島根県松江市

設立：平成21年7月

資本金：200万円 売上高：7,043万円（平成24年）

構成員（議決権）：農業従事者5名（90%）、観光業者（10%）

役員：5名（うち農作業従事3名）

従業員数：常時雇用者8名、臨時雇用者2名

経営面積：9.8ha（うち所有0.4ha、借入9.4ha）

作付作物：牡丹2.4ha、薬用人参2.8ha、ソバ2.8ha



雲州人参



雲州人参の栽培風景

<営農を開始するまでの状況>

大根島（松江市八束町）の牡丹、雲州人参は国内有数の産地であるが、牡丹、薬用の雲州人参の生産量及び生産者は年々減少傾向にあり、担い手の育成・確保及び産地の復旧が喫緊の課題となっていた。

また、町内318haの農地のうち、約26haが耕作放棄地となっており、解消に向けた取組みが急務となっていた。

松江市を代表する観光地である八束町の景観を維持することと、貴重な観光資源である牡丹・雲州人参を守りたいという思いから、耕作放棄地の解消に取り組んだ。

これらの課題を解決するための一つの方法として、由志園アグリファーム株式会社を平成21年7月に（有）日本庭園由志園の関連会社として設立した。

<特徴的な取組>

地域の農家が高齢化し、昔からの大根島特産品である薬用人参や牡丹の栽培技術が衰退していくなかで、伝統を守るために栽培農家から技術を教えてもらい、出資を受けている日本庭園運営会社での販売、イベント等での販路拡大を図っている。

<今後の農業経営の展開方向>

今後、松江市八束町内において規模拡大を図り、経営の安定化を図る。

<今後法人化を進めようとしている方へのアドバイス>



雲州人参栽培用の屋根掛け



日本庭園での展示